【公募情報】日本医療研究開発機構（AMED）「地球規模保健課題解決推進のための研究事業（保健医療サービス提供最適化に関する研究）」

平成 27 年 8 月 6 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

7 月 29 日付で『地球規模保健課題解決推進のための研究事業（保健医療サービス提供最適化に関する研究）』について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 8 月 14 日（金）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 8 月 17 日（月）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

地球規模保健課題解決推進のための研究事業（保健医療サービス提供最適化に関する研究）

<http://www.amed.go.jp/koubo/030120150729.html>[外部ページ]

—公募概要—

地球規模保健課題解決推進のための研究事業（保健医療サービス提供最適化に関する研究）

【公募期間】平成 27 年 7 月 29 日～平成 27 年 8 月 28 日（金）15 時

【実施予定額】初年度 7700 万円 2 年度 1000 万円（間接経費 30%を含む）

【実施期間】2 年間（事業開始：平成 27 年 11 月中旬）

【採択予定数】1 件（複数課題採択する可能性も有り）

【分野】

日本の先端情報科学技術を利用したユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための保健医療サービス提供の最適化に関する研究

【内容】

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成するためには限られた資源の中で、必要な保健医療サービスを効率的に提供する必要があります。しかし、途上国においては保健システムが脆弱であり、必ずしも効率的に提供されているとは限りません。

本公募においては、UHC の達成を目指し、前記脆弱性の解消に向けて、日本の先端科学技術を利用することにより得た情報を活用し、途上国のニーズに合う、感染症対策、予防接種や母子保健などの保健医療サービスを、現状と比較してより効率的に提供する具体的方策、及びその他の疾病や他の地域へ応用するための提言を求めます。

提案は、対象とする地域における資源で実施可能であることに留意し、研究終了後もその継続を期待できることが必要です。

（注意点）

- 1 対象とする途上国の地域を決めて下さい
- 2 現地で最適化する保健医療サービスについては、対象は1つでも複数でも構いません。
- 3 集約する情報については、測位衛星などの日本の先端技術の活用により得た情報を含めることが必要です。
- 4 想定するサービス最適化の方策及びその実施方法、実施により想定される成果については、定性的な議論ではなく、定量的な議論でなければなりません。
- 5 成果としては、同じ資源でより多くの方がサービスを受療できる、より少ない資源で同じ数の人々がサービスを受療できるなどが期待されます。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp